

御蔵島村 議会だより



- 掲載記事・・・・・・・・・・・・・・・・
- 1 議長頭文
- 2 第2回定例会について
 - 1) 議決事項
 - 2) 一般質問
 - 3) その他の質疑
- 3 活動広告

平成24年8月

頭 文

議長 栗本 道雄

梅雨の季節も終わり本格的な夏が始まりました。村民の皆様にもおかれましても、熱中症などに留意し暑い夏を乗り切りましょう。

平成24年度で期限切れとなる「離島振興法」は平成25年度以降の改正延長が決定して、ひと安心しています。離島の基盤整備はもちろん振興・発展には今後も無くってはならない法律です。

国政では消費税の増税法案が審議中で、その決定はほぼ間違いない情勢です。しかし、離島に住む住民の負担軽減措置をなんとか実施してもらおうように関係各方面に働きかけていきたいと思えます。

10月には「平成24年度御蔵島村総合防災・安全点検（仮）」の実施が予定されています。今後の村の防災対策が話し合われる予定です。

御蔵島港湾の今後の整備計画を話し合う「御蔵島村港湾整備検討専門部会」の開催が遅れていましたが、7月20日に開かれほぼ今後の港湾整備の方向性が出る予定です。もちろん村独自の港湾整備は実施出来ませんので東京都や国に対しても引き続き整備計画の策定とそれに見合う予算措置がなされるように活動して行かなくてはなりません。

議会では再生可能エネルギーの視察を予定しています。「節電の夏」と今年も言われていますが、御蔵島においても今後さらに再生可能エネルギーの導入が必要です。あわせて少ないエネルギーでもライフスタイルを維持する工夫も必要です。

村民の皆様におかれましても無理のない節電をお願いします。

平成24年第2回定例会 議決事項

平成24年第2回定例村議会が、6月8日（金）に開会され、24年度補正予算3件、承認2件、報告1件、発議1件を議決しました。議決された議案は、次のとおりです。

〔補正予算〕平成24年度

(単位：千円)

会 計 名	補正前の額	補正額	補正後の額
一 般 会 計 (1 回)	948,300	5,067	953,367
産業センター会計(1回)	27,047	2,760	29,807
国保事業会計(1回)	57,798	840	58,638

〔条例ほか〕

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
承認第1号	御蔵島村税条例の一部を改正する条例	平成24年6月8日	原案承認
承認第2号	御蔵島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	平成24年6月8日	原案承認
報告第1号	繰越明許費繰越計算書(介護保険事業特別会計)について	平成24年6月8日	原案承認
発議第1号	御蔵島村長辞職勧告決議案	平成24年6月8日	原案否決

議案の解説

一般会計補正予算について

温泉ポンプの撤去と村道転落防護柵の補修のための補正を行った。

産業センター会計補正予算について

「御蔵の源水」のペットボトルが1.5ℓから2.0ℓに変更されるため、充填設備の改造が必要となったのでその費用を補正した。

国保事業会計補正予算について

当初の見込みとの差額を補正した。

御蔵島村税条例の一部を改正する条例について

たばこ税の税率が変更され、村民税均等割り額も期限付で変更された。また、東日本大震災関連の特例が追加された。

御蔵島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

国の法律が改正されたため、関連する箇所の修正を行った。震災被害者への特例措置を追加した。

繰越明許費繰越計算書(介護保険事業特別会計)について

平成23年度末で廃止された臨時特例基金の不用額を国庫へ返納するために平成24年度への繰越を行った。

御蔵島村長辞職勧告決議案について

村長に対する辞職勧告。

一般質問

広瀬 鹿雄 議員

税金等、公共料金の口座振替について

【質問】 昨年9月議会から、税金、水道料金を含む、公共料金の自動引き落としをお願いしてきた。村は努力されて、5月に支払い方法変更の申し込み受け付けが始まり、これで住民の利便が向上する。しかし、さらなる自動振替の利用率向上が必要。戸別訪問等、向上対策を実施して、効率的村政運営を願う。懸案の水道料金自動振替はどうなったか。

(回答) 会計係長 水道料金の口座引き落とし、住宅使用料などを郵便局で納付出来るようにするなど、利用者の利便性向上が図れるよう準備を進めており、現在のところ、本年10月分の支払いから口座振替が実施できる予定。また、口座引き落としの拡大は、多くの方が扱っていただけるよう、更に努力していく。

基本構想の進捗について

【質問】 行政評価システム導入と22年度から始まった2年目の進捗状況を今議会までに報告してくれるようお願いした。

(回答) 副村長 23年度の進捗状況は全75項目中、完了6件、計画どおり29件、やや遅れ14件、遅れ26件。

【意見】 項目が多数あるので、精査して、行政評価システム導入、住民周知等々、次の議会で質問する。

【質問】 赤沢農道についての進捗状況は、25年度着工目途で都に予算要望しているとしていたが、現在どうなっているか。また、来年度着工できるかはいつ頃わかるか。竣工まで何年かかるか。

(回答) 産業課長 都の農業関係の補助が取得できなかったため、別の補助を検討している。1月の予算編成時には確定する。竣工には年度予算の関係もあり数年はかかる。

【質問】 し尿処理施設と森山ヶ下整備の進捗状況を。

(回答) 総務・民生係長 し尿処理施設は、本年度、基本設計を行う予定。

(回答) 産業課長補佐 今年度は部会を立ち上げ、この中で審議し決めていきたい。24年度は、全体の使用計画、一部未買収地の取得、工所用道路など整備の測量設計に入っていきたい。

【意見】 これから、部会を立ち上げるのは遅い。早期に部会を立ち上げ、協議に入ってもらいたい。結論は随分先になるような気がする。遅くとも秋ころまでには結論を出していただきたい。

【質問】 26年度からの港湾整備計画は、年度内に決まるような話があった。整備計画作成の現況、また、いつ頃決まるのか。

(回答) 産業課長 港湾整備計画は、部会で検討し、答申を審議会に上げる段階で、都に変更があり、現在、部会案も含めて、波浪、風、潮流等による影響のシミュレーションを行っている。その結果を得て、改めて部会で審議、答申することになる。6月中には示される予定。

危険物の保管管理について

【質問】 LPガスが港湾区域の道路に置いてあり、農協は何年も各家庭にここから供給しているので、昨年、危険物の保管管理について質問した。東京都からは多少の不備はあるが農協は正規の取扱をしている旨の回答があった。しかし、今年の事業説明会で、都は保管施設の状況を知っています。そのうえ本年の危険物立入検査を6月14日行うとしている。そこでどのような指摘があるか。保管庫が狭いのは事実。日常生活の必需品、危険物の隔離、これは村民の権利。農協の経営状況は不明だが、東京都の指示によっては、予算、設置場所等、村のバックアップを村長

に特にお願いしたい。

(回答) 村長 設置場所、許可取得含めて助言をしている。要請があれば、即動く必要があると考えている。

環境保全調整会議について

【質問】 「御蔵島海域におけるエコツーリズム制度と環境保全調整会議」ができた。目的に「三宅島管内のバランスあるエコツーリズムの発展を」とある。東京都と御蔵島村長が結んだ協定もある。昨年、三宅島の船で死亡事故もあり、三宅島の意見を聞くことは必要だが、調整会議の発足が拙速で、御蔵島関係者の意見を反映しての発足か疑問が残る。村長の考えは。

(回答) 村長 現在イルカは大島、利島、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島にいる。イルカを保護するために、東京都と協定があるのは御蔵島のみ。各島が都とそれぞれ協定を結んで、自分の島のイルカは、自分で管理するのが基本。お互いが話し合いを持ってやって行く為にスタートしたと理解する。

栗本 寿晃 議員

公用車の運用について

【質問】 納車間もない電気自動車の損傷、赤十字車も納車後間もなく、ドアが損傷している。職員の運転能力は。車両運行管理はどうなっているのか。

(回答) 会計係長 職員は係長の許可を受け、運転日誌に記入する。運転技量等の確認は行っていない。経験の少ない職員には同僚が同乗して試運転する。今後も、職員の安全運転意識の徹底、啓発活動及び庁有車点検管理を行う。具体的には、安全運転注意喚起文書の配布、新人職員の運転指導を行う。

電気自動車の運用について

【質問】 電気自動車はリース車か、レンタカー車か。保険が効かず、使用者負担と記載されている。使用料は何のための徴収か。また、この貸し出し条件は道路運送法に抵触しないか。借りた本人が事故を起こした時、その保険で修理ないし事故の補償はできるか。

(回答) 産業課長 電気自動車の貸出は、地方自治法第237条第2項による物品の貸出。対人、対物の保険は村で加入している。道路運送法は、貸し出しを業としない為問題はない。事故を起こした場合は、保険の範囲で補償は可能。ただし、車自体の損傷は、使用者の負担となる。

鈴原湿原の立て看板について

【質問】 看板に「固有種であるミクラコザサ」と記載されているが、この記述に間違いはないか。

(回答) 教育長 昭和32年2月に東京都指定天然記念物に指定された御蔵島鈴原湿原の湿原植物群落の新しい立て看板であり、確かに、「固有種であるミクラコザサ」と記載がある。現在、ほかの情報もあり、指摘を受けて、記載内容に間違いがないか東京都教育委員会に調査確認中。間違いがあれば、早急に対応したい。

延長保育について

【質問】 延長保育の予算計上がされているが、共働き支援はいつから行われるのか。

(回答) 総務課長 事業の結論は確定していない。今迄試験運用等を含めて調査検討を続けてきたが、現状においては、必要性がなじみにくい部分もある。それらを考慮して、近々結論を出す事にしたい。

自然公園法特別保護地区について

【質問】 ガイド認定者が平清水川流域に家族で立ち入った。以前、村に許可を得れば可能との回答を得たが、上位法に抵触はしないか。エコツーリズムの観点から、自家所有地でない自然環境保全促進区域（立入禁止区域）への立入に容易に許可が出ることがおかしくないか。法的根拠を含め説明を。

（回答）産業課長補佐 自然公園法第21条第3項に行為の規制はあるが立ち入りの制限はない。村の土地であれば村の許可、個人の土地は所有者の許可があれば立ち入りは可能。東京都自然ガイド認定者が、家族やお客様をルール守って立ち入る場合も同様。

御蔵島防災マップについて

【質問】 村が指定避難場所とした学校は土石流危険渓流区域内。現在のヘリポートと建設が検討されるヘリポート用地も同一危険箇所。住宅用地として土地購入を進めている森山ヶ下は裏手が地滑り危険地帯。住民の生命・財産を行政はどうやって守るのか。

（回答）総務・民生係長 避難場所は建物の堅牢性、地理を考慮して指定される。指定避難場所の学校は、村内で限られた鉄筋コンクリートの堅牢な建物であるが、すべての条件を満たしていない。今後も避難場所、ヘリポートや住宅地の災害対策について、優先的実施を東京都に要望する。

黒田 正道 議員

防災訓練の実施について

【質問】 本年度、防災訓練を実施する旨の発言があった。まだ実施期日、内容等が示されていない。学校、社協等の関係団体と連携して実施すると思うが、関係団体は既に年間の計画を立てて活動しており、急な開催には参加者が少なく、形式的な訓練になってしまう。本年度に実効性のある訓練を実施するのであれば、相当な準備期間が必要。早期に日程を決め、計画の策定、関係団体との協議に着手してもらいたい。

（回答）副村長 平成24年度は、5月に村内配布したハザードマップを基に、地域防災計画を含め、危険箇所のチェック、防災用具の存否、防災施設の検証など防災機関と安全総点検を行う。住民や教育関係機関等を含めた、防災訓練は25年度に実施をする予定。

村内の美化について

【質問】 以前ごみのポイ捨て禁止条例の制定を提案したが、その時は、広報等で啓蒙するとの回答だった。いまだ村のアクションはない。ごみのポイ捨ては目に余るものがある。特に棧橋付近は、たばこ、空缶、ペットボトル等が散乱している。1万人以上のお客様が来島し、しかも、エコツーリズムを提唱、実践している村。村内の美化について村の考え方を。

（回答）総務課長 エコツーリズムの観点から、環境美化は村の重要な要素の一つ。美化意識の強化について、注意喚起の掲示、文書の配布等早急に対応する。しかし条例を制定することは現在は考えていない。

栗本 範一 議員**村道中央線改良工事について**

【質問】 中央線改良工事の結果、急勾配となっている箇所があり、危険度が高く車両通行の妨げとなっている。住民から改善を要求する声が出ている。今後、この箇所の修繕予定はあるか。また、設計段階で予測できなかったのか。

（回答）産業課長補佐 隣接する村の土地に道幅を広げた為、多少勾配がついた。今後は危険が無いよう設計整備を進めたい。新しい整備は現状では考えていない。必要があれば今後検討する。

温泉事業の中止について

【質問】 福祉保健センターへの配管及びタンクの設置に係る当初予算は否決された。村長より事業を中止する発言があったが、住民に対して中止に至った経緯の説明がない。このまま事業は終わるのか。

（回答）総務課長 住民の代表である議会で温泉事業を含む予算案が承認されなかった。一般会計の当初予算なので、行政執行を円滑に進める必要から本事業の見直しを図り、新年度の一般会計の成立を優先させるということで見直しを決定した。

高齢者緊急通報システムについて

【質問】 高齢者緊急通報システムの点検時において、対象者本人に実際に使用させる訓練の実施を強く要望する。

（回答）総務・民生係長 保守点検の際、点検業者に使用方法を説明するよう指示している。必要に応じて担当者が立ち会って確認する等措置をする。

地域福祉計画の策定について

【質問】 御蔵島の10年後を見据えて、御蔵島村地域福祉計画を策定することを要望する。地域福祉計画は、計画を立てることが目的でなく、策定の過程において住民主体で話し合いをすることが重要。計画的な地域福祉活動を目指すために、地域福祉計画の策定は不可欠と思われるが。

（回答）村長 現在、実施している事業を充実するために何をするか。事業全体をここで検証する必要がある。それらを踏まえてやって行きたい。

定住促進について

【質問】 村の住宅建設が定住促進に結びついていない。絶対数が足りないため住宅建設も必要だが、定住のための宅地整備も必要。住宅検討委員会を発足するに当たり、条例も見直し、ぜひ安心して村に定住できる環境づくりを具体化していただきたい。

（回答）産業課長補佐 検討部会で新たな住環境整備を検討していきたい。公営住宅とは違い、定住促進住宅は村が家賃を設定できるので、なるべく増やしていきたい。

新規職員の着任状況について

【質問】 現在の新規採用職員の着任状況を。

（回答）総務課長補佐 今年度は5名の新規採用を予定していた。うち4名は4月に赴任、1名は本人の都合により辞退。補充内定者から繰り上げ調整を図ってきたが、更に辞退となった。今後は、事務事業見直し、中間受け入れ体制等を含め対応したい。

栗本 道雄 議員**港湾整備計画について**

【質問】 部会及び審議会の答申を得て村の案を決めると認識している。現段階で東京都から案が示されるのはいつか。早期の原案が必要だ。

(回答) 村長 東京都は6月中にと言っているので、示された段階で早期に説明を受けたい。部会、審議会において、早く結論を出したい。

エコツーリズムの推進について

【質問】 三宅島との24年度の協定書は締結されたか。締結されていない場合は締結までの間、現在の協定内容で行うことで良いか。

(回答) 産業課長補佐 協定は締結されていないので、締結されるまでは23年度の協定内容の継続と言うことになる。

環境保全調整会議について

【質問】 この会議の設置状況を見ると、なぜ御蔵島海域の協議に三宅島が入ってくるのか。入るならオブザーバーでは、第三者が見れば、御蔵島の海域を御蔵島と三宅島で考えようと言っているように見える。

(回答) 副村長 この会議は合意形成の場であって、多数決で決めるような合議体ではない。合意できなければそれまで。このことは、三宅支庁、東京都にも確認している。

野猫対策について

【質問】 本年度は昨年同様、去勢と避妊を行う計画のようだが、この方法だと処置をされた野猫は再び自然界に放されるため、その猫が寿命で死ぬまで、オオミズナギドリや野鳥への被害が続く。捕獲した猫は死ぬまで飼育し続ける方法はとれないか。

(回答) 総務・民生係長 25年度までは計画執行中なので、現在の方式を続けて、事業を執行する中で他の方策との比較、見直しを行い、26年度に立てる第3次計画に反映させたい。

防災対策について

【質問】 現在、備蓄している食料、毛布、水等々を分散する件は実施したのか。また、備蓄品を増やす予定はあるか。

(回答) 副村長 備蓄品の分散については保管場所の選定をしている。本年度予算に、備蓄品の購入費を計上しており、現在玄米を中心に農協との協議をしており、本年度実施する。

島外との通信体制について

【質問】 小離島である利島、御蔵島、青ヶ島、その他の新島、式根島、神津島には光ファイバーが整備されていない。これらの島と協調して、村が関係機関に要望できないか。

(回答) 副村長 5町村がまとまって要望するよう、島嶼町村会に取りまとめを既に依頼しているところ。

御蔵島会館の現状と進学支援について

【質問】 御蔵島会館の賃貸契約は締結したか。また御蔵島会館廃止に伴う高校生以上の進学支援は決まったか。

(回答) 総務課長 御蔵島会館は、三宅村と平成24年4月1日から平成26年3月31日まで2年間、それ以降は、双方

異議が無ければ自動更新。賃貸料は月額12万円で賃貸契約した。村出身者の進学支援は、本年度国の僻地離島に対する補助金制度の中で、高校のない小離島の子供に対する新しい補助制度ができ、宿泊費等も対象になる。24年度の新規事業なので、永久に続くかはわからないが、新事業として精査したい。

その他の質疑

住宅の変更について

【質問】黒田正道議員 以前、村営住宅の入居者が結婚などにより世帯数に変更があった場合には公募を行わずに世帯数に応じた住宅に異動できると条例に明記されていることを確認した。ルール of 徹底をお願いしたい。

(回答) 産業課長補佐 条例に則って進めていきたい。

開発総合センターの図書室について

【質問】黒田正道議員 図書室という本来の目的を果たしていない。本と棚を撤去して、机と椅子を置いて会議室としたらどうか。

(回答) 総務課長 立地条件もよいので、ご指摘の方向で考えていきたい。

温泉ポンプの撤去について

【質問】栗本寿晃議員 温泉ポンプを撤去するという名目で補正予算が挙げられている。温泉事業からは完全に撤退するというのでよいか。

(回答) 総務課長 温泉事業については24年度以降予算計上しない。

(回答) 村長 温泉そのものは残っているので、別の方法を考えたい。

【質問】栗本寿晃議員 温泉を利用する考えがあるのならば、ポンプを撤去する必要はないのではないかと。

(回答) 村長 特殊な機械であり、使用せずに放置しておくことと故障してしまうということで撤去することとした。

【質問】栗本寿晃議員 3月議会で村長から「温泉事業は中止」と説明されたが、ここにきてまた温泉事業を進めたいというように変わったのか。

(回答) 村長 一度否決されたことは重く受け止めているが、もう一度議論して、今後利用すべきではないかと考えている。

【質問】栗本寿晃議員 撤去後のポンプはどうするのか。

(回答) 産業課長補佐 売却も検討したが、特殊な機械なので買い手がつかない。村で保管しておく。

貨物船への食料品などの積込について

【質問】栗本範一議員 締め切りの時間前に荷物を持ち込んだにもかかわらず、貨物船への積込を拒否されてしまったという例があった。御蔵への貨物船は週に1回だけなので、このようなことは今後ないようにしてもらいたい。

(回答) 産業課長補佐 ご指摘の内容は村でも確認した。東海汽船と貨物会議等の機会があるので改善を要求する。

御蔵の源水について

【質問】栗本寿晃議員 ペットボトルの容量が1.5ℓから2ℓに規格変更されるそうだが、それによって源水の価格も値上がりするのか。

(回答) 産業課長 原価計算等しているが、値上げはしない方向。

村長への辞職勧告について

【説明】栗本寿晃議員 監査委員から監査の結果についての報告が議会にあった。平成23年度一般会計の契約済み工事21件について監査を行った結果、6件について平成24年4月6日の時点で工事継続中にもかかわらず完了届が提出され、村長決裁があり、完了したことになっていた。このような不正行為は見逃せないのでこの勧告に至った。

(意見) 広瀬正一議員 この発議に住民の意見が集約されているとは考えられない。

(意見) 広瀬鹿雄議員 発議の趣旨は理解できる。工事の遅れなどは改善してもらいたい。しかし、御蔵島の特殊な事情を考慮すると、そのことで辞職に結びつくとは思えない。

議長活動報告

栗本道雄議長

- 5月8日 ・御蔵島港湾工事説明会
- 5月10日 ・東京都総務局行政部、港湾局離島港湾部訪問
- 5月11日 ・島嶼町村一部事務組合組織団体長/議長合同会議
・島嶼町村一部事務組合議会
・島嶼町村議会議長会臨時総会
・東京都町村議会議長会臨時総会
・東京都町村議会議員講演会
- 5月24日 ・港湾整備要望活動（国・東京都）
- 5月25日 ・島嶼町村一部事務組合組織団体長/議長合同会議
- 5月26日～27日 ・島じまん2012
- 5月29日～30日 ・全国町村議会議長副議長研修会
- 6月4日 ・三宅支庁管内（御蔵島村分）事業説明会
- 6月6日 ・御蔵島村議会全員協議会
- 6月8日 ・第2回御蔵島村議会定例会
- 6月26日～27日 ・都議会民主党議員団来島
- 7月2日～3日 ・東京都町村議会議長会優良町村視察（沖縄県嘉手納町/南大東村）
- 7月20日 ・御蔵島港湾整備検討専門部会

定例議会予定

平成24年御蔵島村議会第3回定例会

平成24年9月12日（水）予定